

車両用防護柵

【防護柵の設置基準・同解説準拠】

「景観に配慮した道路附属物等整備ガイドライン」の趣旨に沿った車両用防護柵です。

夜間の安全性に配慮しています

スワレ反射体を下段ビームに装備(景観型シティタイプ)

人にやさしい安全性

支柱・ボルトの突起を極力抑えた景観型車両用防護柵です。
(A種・B種・C種全ての種別に対応可能です。)

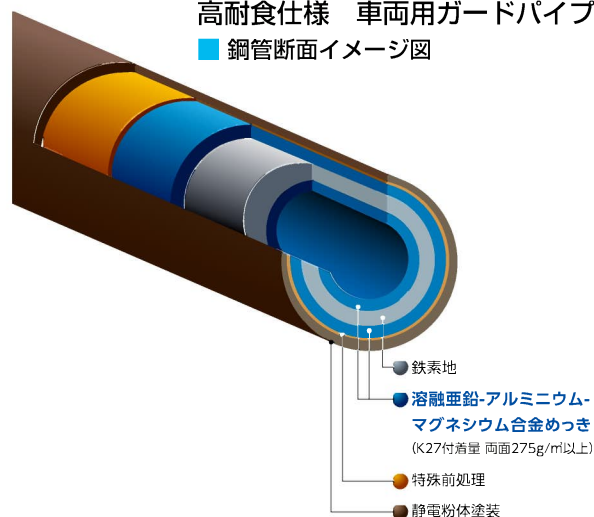
高耐食仕様

高い耐食性を有した高耐食溶融めっきを採用しております。
(標準型Gp、景観型シティタイプGpL、景観型東北地方タイプGpS)

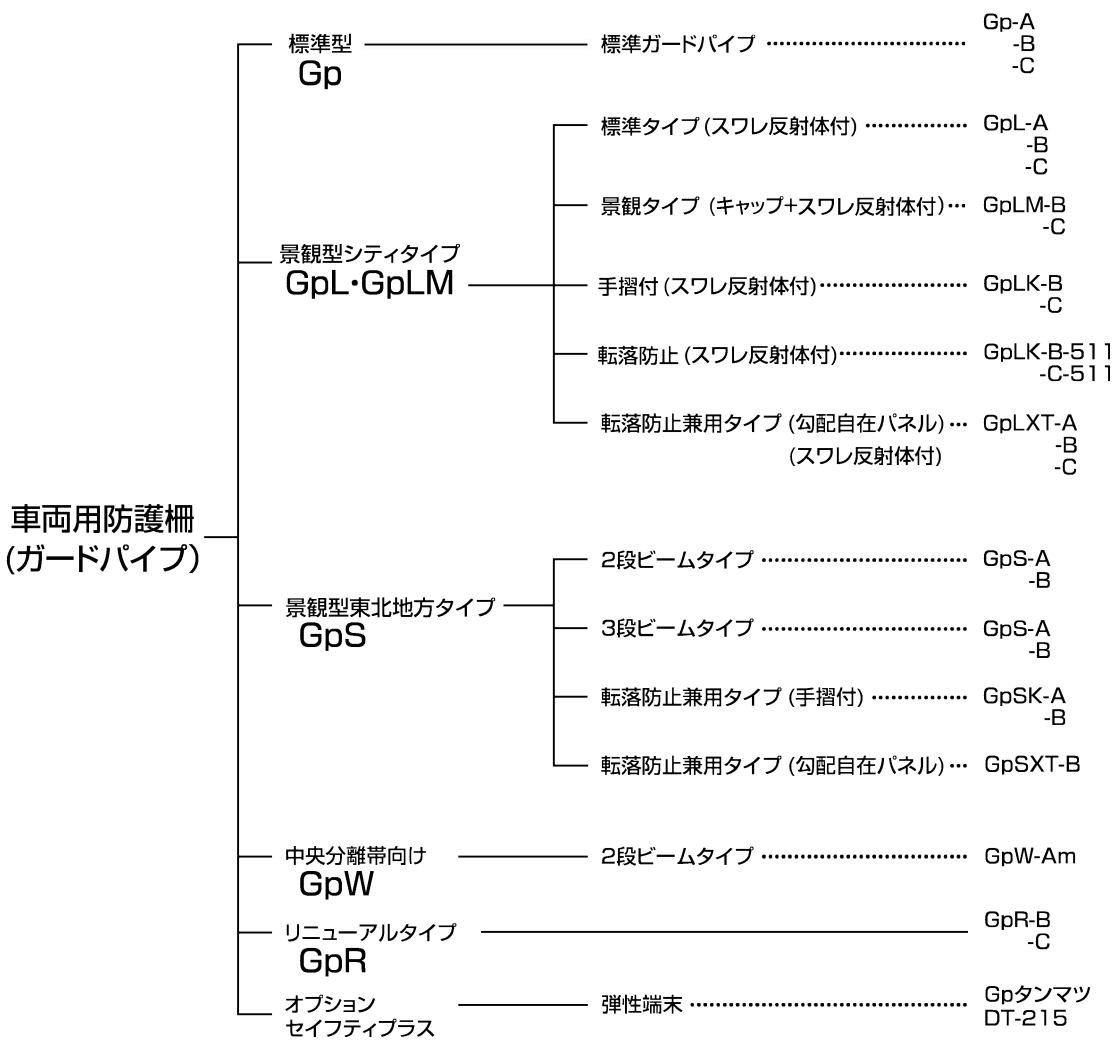
※GpSについては、弊社営業にご確認お願い致します。

高耐食仕様 車両用ガードパイプ

■ 鋼管断面イメージ図



〈 車両用防護柵の分類 〉

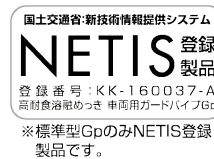


■ 車両用防護柵 金具対応表

品種	対応部	水平	勾配	勾配変化点	コーナー	急コーナー
Gp 支柱: φ114.3×4.5/φ139.8×4.5 ビーム: φ 48.6×2.4/3.2/φ60.5×3.8			 MAX.100%勾配	片側MAX.2%勾配	平面角度片側 MAX.1°	金具での 対応不可
GpL 支柱: φ114.3×4.5/φ139.8×4.5 ビーム: φ 48.6×2.4/3.2/φ60.5×3.8			 MAX.100%勾配	片側MAX.2%勾配	平面角度片側 MAX.1°	金具での 対応不可
GpLK 支柱: φ114.3×4.5 上ビーム: φ 60.5×2.3 下ビーム: φ 48.6×2.4/3.2			 MAX.25%勾配	片側MAX.2%勾配	平面角度片側 MAX.1°	金具での 対応不可
GpS 支柱: φ114.3×4.5/φ139.8×4.5 ビーム: φ 76.3×3.2/φ89.1×3.2 φ 60.5×3.2 φ 48.6×3.2			 MAX.100%勾配	片側MAX.2%勾配	平面角度片側 MAX.1°	金具での 対応不可

高耐食仕様

標準型Gp/景観型 シティタイプGpL 景観型 東北地方タイプGpS 車両用ガードパイプ



車両用ガードパイプに高耐食溶融めっき^{*}(鋼板・鋼管)を採用。

^{*}日本工業規格 JIS G 3323(溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板及び鋼帯)H.24年11月制定

POINT

1 積水樹脂の車両用ガードパイプが従来の溶融亜鉛めっき(Z27)から高耐食溶融めっき(K27)になります。

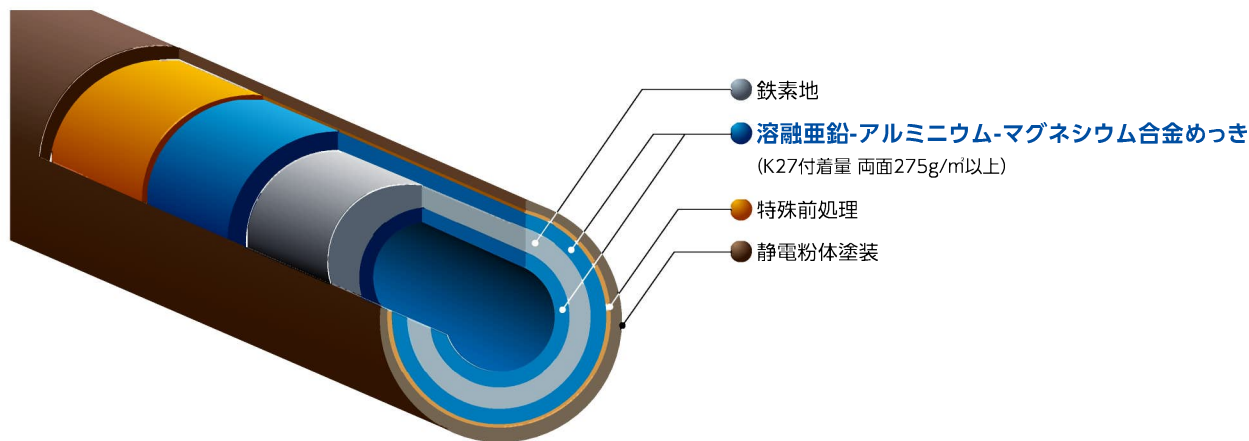
既存道路インフラの老朽化が叫ばれている中、これからの防護柵にはより高い耐久性が求められます。積水樹脂は車両用ガードパイプを、従来の溶融亜鉛めっき+静電粉体塗装から高耐食溶融めっき+静電粉体塗装を標準仕様とし、長期間にわたりご使用いただける製品として提供いたします。

高耐食溶融めっき + 静電粉体塗装

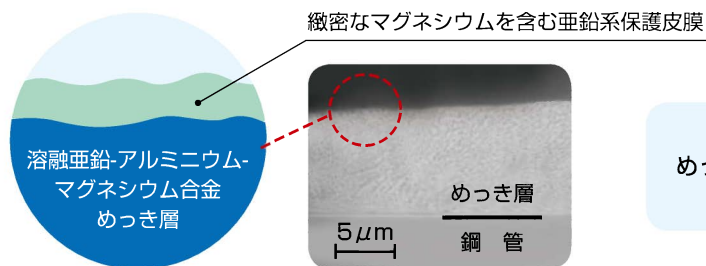
2 従来の溶融亜鉛めっき鋼管(Z27)と比較して、約4倍の耐食性があります！☆

高耐食溶融めっき鋼管はめっき層に含有されるマグネシウムとアルミニウムの効果により、時間の経過とともに緻密で附着性の強い保護被膜がめっき表面に形成され、これがめっき層の腐食の進行を抑制します。また、特殊前処理により塗膜との密着性を向上させ、長期間にわたり耐食性と美観を保ちます。

■ 鋼管断面イメージ図



■ 高耐食溶融めっき(めっき付着量K27)☆



めっき層の腐食抑制

高耐食性

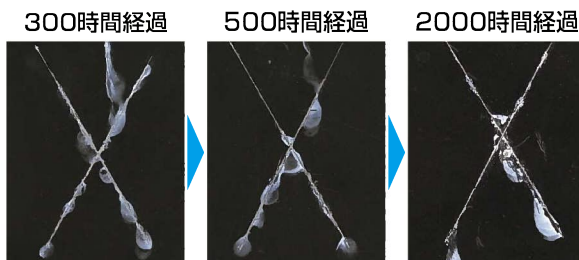
耐食性比較試験

高耐食溶融めっき (K27) + 静電粉体塗装は
溶融亜鉛めっき (Z27) + 静電粉体塗装と比較してすぐれた耐食性を示します。

めっき+静電粉体塗装の比較試験

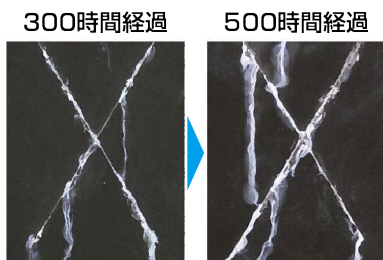
塩水噴霧試験後のクロスカット部強制剥離◎

高耐食溶融めっき鋼板(K27)
+
静電粉体塗装



高耐食溶融めっき(K27)
は基材の耐食性が高いため
塗装後耐食性にすぐれます。

溶融亜鉛めっき鋼板(Z27)
+
静電粉体塗装

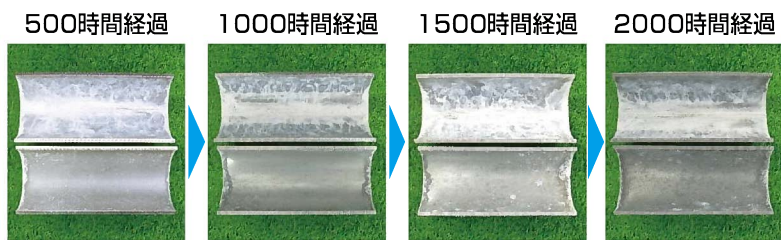


500時間を超えると塗装の剥離面積が
大きくなります。

めっき鋼管(塗装なし)の比較試験

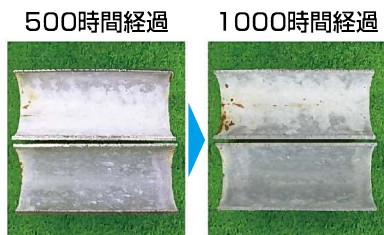
塩水噴霧試験結果◎

高耐食溶融めっき鋼管(K27)



高耐食溶融めっき(K27)は2000時間でも赤錆は発生しておりません。

溶融亜鉛めっき鋼管(Z27)



500時間で赤錆発生。

1000時間を超えると赤錆がさらに
広がります。

地際部の比較試験

地際部暴露試験結果☆

暴露試験期間 / 約12年(千葉県南房総市白浜町)

高耐食溶融めっき鋼管(K27)



溶融亜鉛めっき(HDZ40)



※溶融亜鉛めっきの腐食は設置環境によっ
て変わります。

高耐食溶融めっき仕様は地際部の腐
食が進行しておらず、溶融亜鉛めっき
(HDZ40)と比較してもすぐれた耐
食性を有します。

☆は日新製鋼株式会社のデータを転載しております。 ◎は当社試験によるものです。

高耐食仕様 景観型東北地方タイプ GpS-B

B種

標準色

チャイロ55

準標準色

ベージュ グレイク

「景観に配慮した道路附属物等整備ガイドライン」に準拠し
スワレ反射体を支柱上部に標準装備しています。

※「車両用防護柵標準仕様・同解説」(日本道路協会)に記載されている車両用防護柵です。この防護柵は大野美代子氏の基本デザインに基づき、国土交通省東北地方整備局、神鋼建材工業株式会社が共同開発したものです。(GpSタイプは、積水樹脂(株)が製造販売しております。



※ 本製品は、「車両用防護柵標準仕様」に準拠した仕様です。

POINT

- GpS-B種は「車両用防護柵標準仕様・同解説」(日本道路協会)に記載されている車両用防護柵です。
- 「景観に配慮した道路附属物等整備ガイドライン」に準拠し、視線誘導効果を向上させるセキスイ独自のスワレ反射体を支柱上部に標準装備しています。
- 歩行者への安全配慮と施工性(同径のソケットレンチ対応)を両立させた丸頭ボルト(黒色塗装)を採用しています。

GpS規格(B種兼用タイプ)

用途	種別	設置	品番	支柱サイズ (外径×厚さ)	ビームサイズ (外径×厚さ)	ビーム 段数	地上高 (H)	埋込深さ	支柱間隔	参考重量 (kg/m)
路側用	B種	土中用	GpS-B-3E3-ZM	φ114.3×4.5	上段 φ76.3×3.2 中・下段 φ60.5×3.2	2	758	1500	3000	23.5
			-B-3E4-ZM		上段 φ76.3×3.2 中・下段 φ48.6×3.2	3	838			27.1
		構造物用	-B-2B3-ZM		上段 φ76.3×3.2 中・下段 φ60.5×3.2	2	758	400	2000	23.4
			-B-2B3-2-ZM							22.4
			-B-2B4-ZM							27.4
			-B-2B4-2-ZM							26.4
歩車道境界用	B種	土中用	-Bp-3E3-ZM	φ114.3×4.5	上段 φ76.3×3.2 中・下段 φ60.5×3.2	2	758	1500	3000	23.5
			-Bp-3E4-ZM		上段 φ76.3×3.2 中・下段 φ48.6×3.2	3	838			27.1
		構造物用	-Bp-2B3-ZM		上段 φ76.3×3.2 中・下段 φ60.5×3.2	2	758	400	2000	23.4
			-Bp-2B4-ZM							27.4
			-Bp-2B3-2-ZM							26.4
			-Bp-2B4-2-ZM							27.4

施工図例

